

国語プリント No. ()

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

百人一首をよむ 黄

恋の歌 2

85 夜もすがら物思ふころは明けやらで 閨のひまさへつれなかりけり

俊恵法師

【歌意】一晩中、あの人への思いにふけるこの頃は夜明けが遅く、寢室の戸のすき間まで薄情で朝の光が入ってこない。

【語句】夜もすがら……一晩中ずっと 閨……寢室 つれなかりけり……薄情だなあ。

【問題】 この歌の話者（作者ではない）は男性？女性？それはどうして？

「寢室の戸のすき間まで薄情」とあるけど、他に誰が薄情なの？

つまり、() () が薄情だから日の光と同じように ()
といつこと。

89 玉の緒よ絶えなば絶えながらへば忍ぶることの弱りもぞする

式子内親王

【歌意】 命よ、絶えてしまふならいつそ絶えてしまえ。生きながらえていると恋を堪え忍ぶ力も弱るかもしれないから。

【語句】 玉の緒よ……命よ。 もともとは、玉を貫いた緒（ひも）のこと。「玉」は「魂」に通じ、人の命のこと。
忍ぶ……心を隠す。 恋い慕う。

【問題】 どうして命が絶えてほしい！と思っているの？